

オミクロン株の特性を踏まえた感染対策の確立について

新型コロナウイルス感染症については、従来株と比べて感染力が高い「オミクロン株」による感染が急速に広がり、全国各地で過去最多の新規感染者が確認されるなど、多くの地域で保健・医療体制が危機的な状況に陥りつつある。

こうした中、全国知事会では、国の基本的対処方針の下、国民や事業者の協力を得ながら、まん延防止等重点措置の適用を始め、感染拡大防止に取り組んできたところである。しかし今般、オミクロン株に対しては「人流抑制より人数制限」が有効であるとの基本的対処方針と異なる考え方が報道されたことにより、現場に混乱を来たしている。

政府におかれては、国と地方が協働し、感染拡大の防止に総力を挙げて取り組んでいくため、以下の項目について早急に対応いただくよう強く求める。

- 海外や国内の感染事例、専門家の知見等を活用し、オミクロン株の詳細な性状を早急に分析し、オミクロン株の特性を踏まえた感染対策を確立し、基本的対処方針を見直すとともに、早急に実行すること。
- 各都道府県の感染状況や生活圏域の違いを踏まえ、感染者の発生状況等による段階的かつ地域に応じた感染対策について、基本的対処方針に示すため、地方と迅速に協議の上、早急に策定すること。
- 感染拡大防止には、国民の理解の下で感染対策を進める必要があることから、国民が混乱しないよう、国と地方、専門家等の関係者がワンボイスで、分かりやすく丁寧に発信し、協力を求めること。

令和4年1月21日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長	鳥取県知事	平井 伸治
本部長代行・副本部長	福島県知事	内堀 雅雄
副本部長	京都府知事	西脇 隆俊
副本部長	神奈川県知事	黒岩 祐治
ワクチンチームリーダー	高知県知事	濱田 省司
幹事長	福井県知事	杉本 達治